

真 はひとつである (1/2)

:

明:

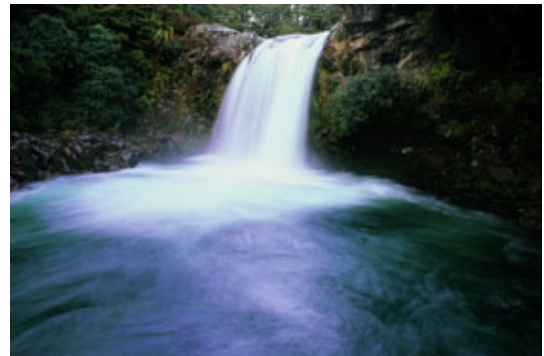
真 は 的であり、相 的ではないということを道 理的 点、そして 々な状 から考察する 理的 の第

目: [事イスラ ムの真 性を示す数々の 理的根](#)

より: M.アブドッサラ ム (2010 IslamReligion.com)

日 5 Feb 2010

集日 27 Nov 2022



宗教について する には、「人の信仰を判断する 利は にもない」、または「宗教とは 人のプライベートな であり、我々にそれが正しいかどうかと主 することは出来ない」、と いう言 をたびたび耳にします。 史を通じて、 社会は彼らが“正しい”と なす “ 的真 ” に基づいて法や 理を作り出しましたが、それは至高と なされる外的典 か、または特定 の事柄の善し しを 分ける人 の内的性 によりもたらされたものです。 かに人 は一定の 内 で善 を 分けることができます。例えを げれば、人 は皆精神倒 でも蒙ってはいない限り 、 尿を れたものであると なします。また窃盗、 人や りなどは であるとされ、真 、 、名 誉は崇高であるとされます。これは全人 に存在する特 の 果ですが、前述の通り、それ には制限があります。

もし かが他者の信仰や行 に して判断を下す 利はないと言うのであれば、 、それらの人々は矛盾したことを 言していることになります。もしもそれらの人々に し、乳幼 の 害、または自 が正しいかと えば、おそらく「正しくない」と答えるでしょう。しかし中米などに られる一部の古代宗教など、特定の社会においては、乳幼 害は神々に近づく行 であるとされていたのです。また今日でもヒンドゥ 教の一部地域では、夫の死 に妻が自 をすることは称 される行 として られています。宗教はそれぞれの 人に任された であり、 もそこに干 し口を挟む 利はないのだと彼らがもし本当に信じるのであれば、それは乳 の 害を称 に すると信じる人々による、そういった行 の遂行を すことであり、 に も彼らを批判する 利がないということと同じなのです。

もし私たちが 人 模でこの を捉えたならば、各人には宗教、法、文化、または 人的 点などに基づいた、それぞれの善 の基 があることも分かります。ある人は 通が容 されるものであると信じれば、それが ったものであるとする人もいます。ある人は麻 の使用は自分自身の身体であるため自由であるとすれば、それが犯罪であると信じる人もいます。人は何が正しく、何が いのかと言うことが出来なくなり、全ての人々は自分たち自身の趣向で何が“正しい”のかを信じ、 行することに委ねられなければならないのです。

法とは特定の事柄に善 があるという基 のもとに制定されているため、もしも私たちがこういった信条を社会に 用するのであれば、法の制定や 行がされない 秩序が横行する社会が 生することになります。もし全人 に等しく合意される特定の真 があり、それを基 に法の制定が出来るのであれば、既述されたように、人 にはある程度の善 を 分ける生来の素 が えられているため、それは限られた 合において有 かも知れません。しかしこのような素 は、 境や精神的 宗教的要素によって容易に するということが分かっています。ある行 はある 代においては邪 で不道 的だとされていても、 の 代では健全で容 出来るものであるとされたり、 には人 性に欠けるものが救 の であるとされたりするのです。これは多数派の意 に基づいた法を制定する、民主社会において明 に て取ることが出来ます。私たちは、 去に不条理で道 に反すると考えられていたものが、 在では社会的に められているのを目にします。それこそは特定の について なる 解を持つ者が、除

け者にされる社会なのです。

こうした理由により、人は自らの便宜のために善をめるような法を制定すべきではないことが如くなります。例えば政教分離を行す同一宗教の社会の中であれ、宗教にしては合意があったとしても、社会の中で何が正しく、何が起っているかにしては大きな不一致があるのです。フランスで性行に合意出来る合法的な年齢は、アメリカではとみなされます。ある国では妊娠中は合法ですが、別の国では犯罪であり、またある社会で同性が正当な人生の生き方であるとみなされていれば、一方で別の社会ではそれは重大な罪にあたるのです。

さて、もし私たちが真は一つかつ唯一であり、各人と社会に互に相対的でないという主張するのであれば、次は「何が真理を明白にする理由であり、それがそれを行なうのか」ということがされなければなりません。社会に用される法とは、どういったものであるべきなのでしょう？ それらは法に精通する法律家や裁判官によって定されるべきなのでしょう？ または通常自分たちの利益または国の利益に沿って定を下す政治家、あるいは自身の熟考により普遍的真を得たと主張する哲学者によってめられるべきでしょうか？ 既述の通り、現代社会においてられる様々な害から分かるように、破滅的な果がもたらされるのを望むのではない限り、人はこれらの重さを担うべきではないのです。何が正しく、何が起っているのかを制定する権利のある唯一の者とは、私たちを造り、何が私たちに与えられた最善であるかを知る全能なる神だけなのです。神こそがこの世界を造り、神により正の秤は定められたのです。神こそは完全にして、不変のない万全な御方なのです。

ここでの話は主に道徳と行に於ける信条についてのものでしたが、次の事では更に重要である、神に於ける信条についての話をしていきましょう。

この事のウェブアドレス:

<https://www.islamreligion.com/index.php/jp/articles/8>

著作 2006-2015 断を禁じます。 2006-2023 IslamReligion.com. 断を禁じます。